



タイトル「2023年度 全学教育科目（静岡）[LA-S]」、フォルダ「2023年度 全学教育科目（静岡）[LA-S]－A B P科目－グローバル・アジア特別教育プログラム科目」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

参照URL

授業科目名	A B P 海外研修 I (ABP Overseas Training I)				
担当教員名	島田 和久		所属等	学術院融合・グローバル領域	
			研究室		
分担当教員名	比留間 洋一				
クラス	学部共通 1	学期	後期	必修選択区分	－
対象学年	2年	単位数	2	曜日・時限	集中
教室				科目ナンバリング	LA011270020
キーワード	グローバルビジネス、ビジネスモデル、異文化理解、多様性				
授業の目標	この授業では、静岡県内にあるグローバル企業について事前に学び、その現地（ベトナム）拠点を訪問して企業の海外展開の実態を体験し調査する。そして、帰国後に振り返り（事後学習）を行って事前学習および現地研修の成果の定着を図る。さらに、今後の課題などについて自分なりの視点で整理し発表する。 受講生は、一連の研修を通してグローバル企業で活躍するための知識や心構えを身に着けることができる。また、授業はアクティブラーニング形式を基本としており、現地での担当者との対話も期待されていることから、コミュニケーション力やリーダーシップ、異文化理解力についても身に着けることができる。 授業を通して身に着けた知識やスキルは、受講生が自らの将来を考える際に新たな視点を持つことができるようになるとともに、就職活動にも活かすことができる。				
学習内容	グローバルに展開する企業のビジネス戦略を調査、研究、議論、提案、発表を行う。 事前学習では、企業や業界の調査を行い、訪問先の国やビジネスの基礎知識を身につけて発表する。 現地研修では、事前研修の仮説の検証や確認、更に実際に現地企業を訪問して企業と意見交換、ディスカッションを行う。 事後学習では、事前学習および現地研修をもとにして訪問企業についてトピックに応じた発表を行う。 授業全体を通して、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、リーダーシップを学び、将来の就職活動にも応用できるような知識とスキルとを習得する。				
授業計画	この授業は、事前学習、（海外）現地研修、事後学習、およびプレゼンテーションとレポートから構成される。 【募集人数】 ・10名程度を予定（累積GPA値、志望理由書・面接審査に基づいて選考） 【事前学習】 ・訪問企業の戦略、ビジネスモデルを調査・議論し、提言として発表 【（海外）現地研修】 ・研修国・研修先：研修国はベトナム。ABP（Asia Bridge Program）企業連絡会の現地拠点を中心に訪問予定 ・引率：静岡大学教員が全行程を引率 ・現地研修日程（予定）：2024年2月18日～25日 【事後学習】 ・訪問企業を調査・研究し、発表 ・研修成果レポートの提出				
受講要件	・応募時に2年生以上であること ・グローバル・アジア特別教育プログラムの履修をしていること ・語学力は基本的にTOEIC550点以上とする（応相談）				
テキスト	適宜配布				
参考書	生田博子著『世界で学ぶ、働くことは生きること』書肆侃侃房,2021,160p				
予習・復習について	事前研修（事前に企業、業界を調べ提言）と事後研修（発表・報告書）				
成績評価の方法・基準	①事前研修（30%） ②事後研修（30%） ③報告会（複数教員の評価 40%）				
オフィスアワー	毎週火曜日の昼休みに研究室にて。事前にメールで予約を入れてください（shimada.kazuhisa@shizuoka.ac.jp）。				
担当教員からのメッセージ	日本企業の海外進出や若年層の人口減少により、異なる文化的背景を持った同僚と仕事をする機会がますます増えることが予測されています。アジアの多くの国々と日本とは歴史的に強い結びつきを持っており、これらの国にある日本企業の現地拠点を実際に訪問して体験することで、受講生の皆さんの視野は格段に広がると期待しています。そして、この授業で得た知見が単なる知識として蓄積するにとどまらず、自らの将来の可能性を広げるための契機、あるいはその弾みとなることを願っています。この授業はアクティブラーニング形式で実施され、受講生の皆さんの積極的な授業参加を期待しています。				
アクティブ・ラーニング	グループワーク、対話・議論型授業、プレゼンテーション				
実務経験のある教員の有無	実務経験教員あり〔担当教員は複数の業界での実務経験と多様な視点を有する。〕				
実務経験のある教員の経歴と授業内容	担当教員の多様な実務経験は受講生の視野を広げ、キャリア設計をする際に役立つ。				
教職科目区分					
授業実施形態	対面授業科目（大学の感染症対策の安全基準に基づいてオンラインまたはハイブリッドによる授業とする場合がある。〕				
オンライン授業（詳細）					

戻る